

# 建設現場に対し官民合同パトロールを実施

平成30年7月4日、宮古労働基準監督署では全国安全週間中の取組みとして、建設業労働災害防止協会沖縄県支部宮古分会とともに「平成30年度第一回官民合同パトロール」を実施しました。



出発式の集合写真

平良地方合同庁舎2階会議室にて行われた出発式では、宮古労働基準監督署長、建設防宮古分会長の挨拶が行われ、参加者全員で今年度の安全週間のスローガン

**新たな視点でみつめる職場 創意と工夫で安全管理**

**惜しまぬ努力で築くゼロ災**

を指差呼称しました。

その後、2班に分かれ、宮古島市内の計4現場をパトロールしました。

パトロール実施後は現場で撮影した写真をスクリーンに映しながら講評会を行い、パトロール員からは、

- 足場のプレスが外されたままになっていた
- 足場の脚部の措置が不十分で一部浮き上がっていた
- 型枠支保工の水平つなぎが適切に設置されていなかった
- エレベーターピット部分に墜落防止措置がなかった

等の指摘がなされ、現場責任者に対して改善を求めることとしました。

また、現場で見つけた好事例として、

- 架設計画や揚重計画がパソコンを使用し3Dで表示されわかりやすかった
- 熱中症対策が適切に講じられていた
- トイレや休憩スペースが綺麗に保たれていた

等が報告され、それぞれの現場でも参考とすることとしました。



現場事務所にて説明を受ける指導員